



祝 さんSUNベビー10人目誕生しました！

令和元年9月19日に出産されたママから手記が届きました！



『自分の好きなことだけをして、誰にも邪魔されず死ぬまで自由に暮らしていきたい！』

子どもを産み育てるどころか、結婚さえも全く興味がなかった私が 20 代最後に結婚をしたことは、私自身とっても衝撃的な出来事でしたが、妊娠が分かった時はもっと衝撃的でした。

ほとんど心も身体も準備が整っていない状態で妊娠をし、さて、どうしたらいいものかと嬉しさより不安の方が大きかったことをよく覚えています。

だけど産むのだったら病院の分娩台ではなく、助産院か自宅で、できる限り自然なお産をしてみたいなあという気持ちがわいてきて、知り合いのススメや、いろいろ調べた結果、さん SUN 助産院と出会うことができました。

自分の思い描く理想のお産ができるよう、妊娠中はものすごくいろんなことに気をつけて、信用できる先輩方に良い！と言われたことは何でも試し、体重も増えすぎないようにしっかり管理し、妊娠 6 ヶ月の時はガッツリ田植え(しかも手植え)までして、そんな私の姿をみていた主人からは『スティック妊婦』と呼ばれる始末。

そしていよいよ、夢に満ち溢れた出産が近づいてきたわけですが、妊娠 7 ヶ月頃から逆子だった息子は結局臨月になっても元に戻ることはなく、帝王切開の手術の日を迎えたのでした。

本音は下から産みたかったけど、ずっと見守ってくださった大橋先生に健診の時や産後ケアの際にいただいた言葉に私はたくさん救われてきて、そして産後の今でも思い出し、力になっています。それはここではあえて書きませんが、正直、大橋先生のコトバ(私は勝手に、『大橋師匠のお告げ』と呼んでいた)が聞きたくて、さん SUN 助産院に通っていたといっても過言ではありません。もちろんバッチリ身体を整えていただきましたが、それよりも私は心を整えていただいたなあと感謝しています。

元々こだわりが強く、思い込みも激しく、『～ねばならない』が多かった私ですが、今回のお産を通じ、そんなものはもう捨てよう、なんでも自分の思い通りにいくわけじゃないんだから～！と、思えるようになりました。特にこれから始まる、長い子育てにおいては思い通りにいかないことの連続だろうと思います。

そんな視野や考え方の狭かった私に、たくさんの気づきを与えてくれたこの素晴らしきお産と、大橋先生、さん SUN 助産院にはありがたい気持ちでいっぱいです。

独身の時は、結婚して子どもができたなら自由を奪われ何もできなくなると思い込んでいましたが思いの外、自由に楽しい毎日を過ごしています。主人と息子のおかげで、思っていたよりはるかに豊かな人生になりそうです。

手記 諸橋桃子